

蔵出しお宝ニュース

— 第 25 号 —

三原市歴史民俗資料館では、所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長く眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と行事の案内・紹介などを随時行って参ります。

全国で2台！「のぞきからくり」を展示替え

平成 25 年 8 月 20 日（火）、資料館 2 階に常設展示しているのぞきからくりを移動しました。2 階常設展示室は、時計回りに原始古代・中世・三原城関係・近世・近代の順に三原の略史を、資料を用いて紹介しています。のぞきからくりは大正時代後期に作られたものですが、都合上中世のコーナーに展示していたため、このたび近代のコーナーに展示替えしました。それに伴い、甲冑や鎖帷子^{くさりかたびら}、火事装束なども展示場所を移しました。



のぞきからくりは大型の紙芝居のようなもので、かつては祭りの屋台の一つとして人気を博したものです。映画などの普及により衰退していきました。のぞきからくりの本物は日本に2台（もう1台は新潟県巻町）しか残っていないといわれており、当館所蔵資料の中でも全国に誇る大変貴重なものです。口上も録音したものが残っており、ご要望に応じてすぐに流すことができます。お気軽にお申し付けください。また、「のぞきからくりの仕組みと変遷」「俊徳丸一代記の台本」も配布しておりますのでご自由にお持ち帰りください。



今回移動した場所は、のぞきからくりの左右に壁がないため広々としており、のぞきからくりが今まで以上に立派に見えるようになりました。

のぞきからくり大移動に際し、市民学芸員の有志がボランティアでご協力くださいました。細やかに動いてくださり大変助かりました。ありがとうございました。

(上) 移動したのぞきからくり

(下) のぞきからくりの配布物

第2回 私たちのやっさ踊り展 2,175 人ご来場！



さまざまなやっさグッズ



やっさ踊りで用いる提灯と大うちわ



第1回三原やっさ踊り唄発表会で
特別披露された昔風やっさ踊り

平成25年8月1日(木)から8月23日(金)まで、三原駅前のパアシティ三原西館2階・市民ギャラリー ギャラリー1で開催していた「第2回 私たちのやっさ踊り展」が無事閉幕しました。今年は昨年よりも会期を長くしたため、23日間で延べ2,175人のお客様にご来場いただきました。お暑い中、市内外から会場にお運びいただきましてありがとうございました。

8月4日(日)には協賛行事として、多目的ホールで三原やっさ踊り振興協議会主催の第1回三原やっさ踊り唄発表会が開催されました。各学校や、やっさ教室でやっさ踊り唄を学んだ子どもたちが自慢ののどを会場に響かせました。アトラクションとして昔風やっさ踊りと、昭和11(1933)年に三原町から三原市になったことを記念して制作された伝説のご当地ソング『三原おとめ』の特別披露もあり、大変盛り上がりました。

やっさ祭り当日にはRCCラジオの取材や、三原市と親善都市交流を行っている神奈川県湯河原町の子どもたちの来場がありました。余談ですが、湯河原町には三原から伝わった“湯河原やっさ踊り”があります。

行事名に“私たちの”と付けているように、やっさ踊りには皆様それぞれの思い出がおありで、お客様の中には「VTRでやっさを唄っているのは若い頃の私です。」「亡くなった父が踊っている写真が展示してあるのです。今年も父に会いにきました。」「私も大阪万博でやっさを披露した一人です。」というお話を会場ですておられました。

ぜひまた来年も三原が誇る郷土芸能・やっさ踊りを紹介する「私たちのやっさ踊り展」を開催することができればと思っております。

発行 平成25(2013)年9月3日

〒723-0015 三原市円一町二丁目3番2号

三原市歴史民俗資料館

TEL 0848-62-5595

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用されないようお願い申し上げます。